

令和6年度 第1回 浜名中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月19日（金） 14時30分から16時30分まで
(ただし、14時30分～15時は、授業参観)
- 2 開催場所 浜名中学校 1階会議室
- 3 出席委員 竹内 佐織、松島 一博、岡田 正利、平野 岳子、内山 益巳、高橋 香代、
竹内 幸弘
- 4 欠席委員 小野崎 あゆみ
- 5 オブザーバー なし
- 6 学 校 河合 和夫（校長）、内山 昌俊（教頭）、黒柳 幸夫（教頭）、橋爪 敦志（主幹教諭）、遠藤 千歳（CS担当教職員）、中島 洋子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子
- 10 委員任命書、学校支援コーディネーター委嘱書の交付 (司会 高橋CS C)
竹内 幸弘新委員に、委嘱書が手渡され、拍手で迎えられた。(河合校長)
- 11 浜松市学校運営協議会規則の確認 【資料参照】 (司会 高橋CS C)
司会より、変更点がない旨の報告があり確認依頼もされた。
- 12 委員の自己紹介（名簿順に） 【資料参照】 (司会 高橋CS C)
学校運営協議会委員名簿の順で自己紹介が行われた。(出席委員7名)
- 13 会長の選出（委員の中から互選）・副会長の指名（会長が指名） (司会 高橋CS C)
司会より、昨年に引き続き竹内委員に依頼したいと提案があり、全員の拍手で承認された。
竹内会長より、副会長に松島委員が指名され、全員の拍手で承認された。
- 14 会長あいさつ (司会 高橋CS C)
CSも5年目をむかえました。昨年のボランティア活動等は継続し、学校・地域・共同体と協調し
新しい活動も熟議を重ねていきたい。(竹内会長)
- 15 議長の選出 (司会 高橋CS C)
司会から、議長の選出について竹内会長が推薦され、全員の拍手で承認された。
- 16 熟 議 (1) 令和6年度学校運営の基本方針の説明と承認（校長）
(2) いじめ防止等のための基本的な方針について（生活指導主事）
(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について（教頭）
(4) 令和5年度の振り返りと令和6年度の目標
- 17 会 議 記 録
委員総数8名のうち7名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。(司会 高橋CS C)
司会が高橋CS Cから竹内会長に交代した。(司会 竹内会長)
(1) 令和6年度学校運営の基本方針の説明と承認 【グランドデザイン参照】 (河合校長)
3年修学旅行・2年野外活動・1年校外学習がそれぞれ計画されている。
登下校の交通マナーの低下が地域から報告があり、マナー教育の強化を目指す。
コロナ・インフルエンザの影響がゼロではないので、修復に向かって改善を進めている。

予測困難な世相に対応できる“強く生きる力”を育てていきたい。

登校に不安（人間関係・自己肯定感等）を抱えている生徒がいるので（学校教育目標）を設定した。

〔キャリア教育〕浸透のため、生徒がキャラクターを考案中である。

〔GIGAスクール〕は、情報入手・取捨選択・まとめ・発信の力を身につける。

〔合い言葉〕で、あいさつ・身なり・時間厳守等の自発性が身につくことを目指す。

ボランティアに積極的に参加する。〔浜名中応援団〕として、情報共有・発信を多くする。

以上の説明に対して、全員の拍手で承認した。

（２）いじめ防止等のための基本的な方針について 【資料参照】（内山教頭）

生徒指導主事が、参加できなかったため内山教頭より報告があった。

３頁枠内“いじめの定義”が明記され、浜名中はその認識で動いている。

８頁の“浜名中年間指導計画表”で未然の防止を一丸となって目指している。

早期発見・早期対応のため、学校・福祉関係・カウンセラー・家庭・地域との連携を今後も継続している。多くの欠席者がいますが、いじめだけが原因ではない。

・CSとして支援できる体制を整える。（竹内会長）

（３）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について（黒柳教頭）

浜松市から、CS事業補助金が配分されているので、その用途について意見をもらいたい。

昨年のアンケート結果として、①地域指導者を招いての体験学習の充実にあてる ②地域体験学習（座禅等）参加費用にあてる。 ③生徒の体験事業（面接練習等）の資料作成等にあてる。以上３件の意見がありました。

・学校事業に併せて補助金を使用することで良いでしょう。（竹内会長）

（４）令和５年度の振り返りと令和６年度の目標（竹内会長）

１０頁の〈評価項目４〉より、協議会終了後生徒会リーダーとの交流会が設定されているため、各委員の参加が求められた。

「職場体験」について、生徒数が多いのでいろいろな形や企業に、一つでも多くの声掛けを依頼した。

以上の目標に対して承認が得られた。（司会 竹内会長）

熟議としての項目が終了したので、高橋CS Cに司会の交代があった。

18 連絡事項

（１）２年生職場体験 体験依頼事業所の紹介（司会 高橋CS C）

多種多様な企業の紹介を依頼。（CS担当教諭 遠藤）

・昨年問題はなかったですか。（竹内会長）

お褒めの言葉はあったが、トラブルの報告はなかった。（内山教頭）

全員が希望の職場に行けていないので、今年は多種の体験場所確保への協力を依頼。（内山教頭）

・昨年も多くの職場に声掛けしたけれど、それでも足りなかったのか、人気のところは？（平野委員）
保育関係・車関係の希望が多かった。職場の数は足りていたが、多人数の受入ができず、希望が叶わない生徒もいたが、それぞれの職場で頑張ってくれていた。（内山教頭）

・職場体験先での評判が、他校と比べても良いと耳に入っている。（松島副会長）

・明確な意志がある生徒と、それ以外の生徒への説明や選定方法は？（岡田委員）

保育・食品・製造等の職種に分類して、第３～４まで希望をとっている。（内山教頭）

関係している製造系の企業に声をかけます。（岡田委員）

・ 2日間を予定しているが、定休日の関係で1日交代の場合がある。 (内山教頭)

(2) 今後の学校運営委員会開催予定 【資料参照】 (司会 高橋CSC)
各委員で確認をお願いします。

(3) さくら連絡網について 【資料参照】 (司会 高橋CSC)
今後の連絡も、昨年度同様〔さくら連絡網〕で行います。

(4) ホームページ等への写真・氏名掲載についてのご協力 ※別紙 (司会 高橋CSC)
確認の上、記入後本日提出をしてください。

(5) 今後の取り組み (予定) 【資料参照】 (司会 高橋CSC)
○学校支援

・ 6／7に、地区別避難訓練時に危険箇所の洗い出しを〔防災マップ〕を使用して行う。 (内山教頭)
11／22に、昨年同様抜き打ち避難訓練を行い、その際松島委員の協力を得たい。 (内山教頭)

○地域貢献

・ 一部の保護者しか、学校運営協議会 (CS) の存在を知らないなので、連携・意見・協力を得るために
より広く広報していただきたい。 (内山委員)
・ 浜名中の生徒は、「おはよう」・「荷物を持ちます」とか声掛けができていてうれしかった。(岡田委員)
・ 地域防災訓練へ参加希望の生徒を、自治会長に連絡し活用方法を考えてもらう。 (内山教頭)
地域での参加なので、親の意見も考慮しなければいけない。 (内山教頭)
意見を求めて生徒の参加を依頼したが、予定が合わず開催できない。 (松島委員)
役に立てる方法を、中学生に教えて力としてほしい。 (内山教頭)
防災訓練時が、中学生と地域住民との一番大きな顔合わせになっている。 (内山委員)
〔防災カード〕の配布は、実際の行動に即していないので使用をやめた。 (松島委員)
自治会の意識が変わらない、三角巾使用法・AED操作等を少しずつ広める。(岡田、平野、内山委員)
12／1の地域防災訓練時は、参加可能な体制を学校でつくる。 (内山教頭)

◎教育委員会教育総務課より (教育総務課 井島)
熟議が進まないことが多い中、浜名中は活発な意見交換がみられた。

以上

※この後、引き続き〔学校支援活動〕として、『リーダー交流会』が行われた。

席を口型に配置、前期生徒会役員・専門委員長が参加し、自己紹介(役職・地区・目標)を順次行った。
協議委員会の説明、委員紹介を、竹内会長が行った。

この後、目標・アドバイス等々続いた。